

目次 ■巻頭言 ■図書館ギャラリー企画展報告 ■図書館利用学生モニター活動報告 ■教員等著作寄贈図書一覧
■図書館の動き ■図書館開館日程

巻頭言

図書館と「兼葭堂のサロン」



館長 高松 良幸

新しく静岡大学のメンバーとなりました皆さん、おめでとうございます。そして日頃から附属図書館をご利用いただいている皆さん、これからもよろしくお願いいたします。

江戸時代中期の大坂に木村兼葭堂という人がいました。坪井屋吉右衛門と称した造り酒屋の主人でしたが、学問や文芸に優れ、その広汎な知的好奇心を満たすために膨大な書籍、書画骨董、動植物標本などのコレクションを形成し、それを研究するという人生を送った人です。鎖国の時代であったにもかかわらず、そのコレクションには、長崎出島を通じてオランダや清などから輸入された書物、美術品、標本なども多数含まれていました。「兼葭堂」というのは彼の号であるとともに、彼の書物や資料などを収蔵、研究するための書齋、現在の言葉に直せば研究室の名でもあります。

さらに兼葭堂が偉かったのは、それらのコレクションや研究によって得た知識を自らの独占物にするのではなく、コレクションに興味を持ってその居を訪れる友人、知人、その他の知識人たちに閲覧を許し、同時にそれら訪問客と様々な知識の交換を行うことで、幅広い知の交友関係を構築したことです。その交友は、大名、幕府・諸藩の武士、商人、学者、画家などの文化人と身分、階層を超えたものでした。このような彼の活動は「兼葭堂図書館」、「兼葭堂博物館」などとも称されますが、文芸評論家の故中村真一郎氏は知識人、文化人の交友の場としての「サロン」と形容しました（中村真一郎『木村兼葭堂のサロン』）。このサロンでは、豊富な書物、資料を囲んで、賑やかな知の交換、友情の交歓が行われたことでしょう。

さて皆さんは、大学図書館にどのようなイメージをお持ちでしょうか。様々な専門的な本や資料を静かに閲覧し、利用者一人一人が自らの興味関心に応じて学習する場という人が多いのではないのでしょうか。しかし今そのような大学図書館のイメージが変わりつつあります。

兼葭堂のサロンのように、館内にある豊富な資料を手許に、学生・教員等が自主的にグループ学習し、会話や相談をすることができるスペースを設置する大学図書館が増えているのです。このようなスペースのことをラーニングコモンズといい、附属図書館静岡本館では5階のハーベストルームがそれに当たります。また玄関を入ったところにあるギャラリーは、教員や学生の皆さんが研究の成果や制作物を展示することができるスペースで、展示解説などのイベントを実施していただけます。

一方、浜松分館は今秋のリニューアル・オープンを目指して現在改築工事を進めています。工事中騒音等でご迷惑をおかけしますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

新しい浜松分館は、現在の分館の約 1.5 倍の延床面積になります。2 階にはグループワークエリアを中心に、多文化交流、大学院生用のエリアなどの広いラーニング commons のスペースを設置予定です。また静岡本館同様、玄関付近にはギャラリが設置されます。

もちろん両館とも、個々の利用者が静粛な環境で学習できるスペースも十分に確保されています。

近年図書館が取り扱う資料は、本や雑誌に加え電子書籍や電子ジャーナル、データベースなどが大きな領域を占めるようになってきました。附属図書館も多様な資料を豊富に備え皆さん方に提供できるよう努力するとともに、資料の提供やラーニング commons の利用などに関しては、図書館員が積極的に相談に応じ、アナウンスに努めてまいります。

ただ、本学の図書館が兼葎堂のサロンのようになるためには、皆さん方のご利用があつてのことです。積極的に図書館にお立ち寄りください。

団体戦



分館長 梅本 宏信

2014年の東京箱根間往復大学駅伝競走は東洋大学が歴代2位の好記録で優勝した。

私は、スポーツ観戦では駅伝を見るのが好きだ。野球やサッカーがチームプレーであることは論を俟たない。一方、駅伝での連携プレーは纏わただけで、それほど技術がいるようにも見えない。それでも、駅伝選手は、区間賞のためではなく、

個人戦なら棄権してしまうような状況でもチームの勝利のために走る。この個人戦の寄せ集めのようにでありながら、実は高度な団体戦であるところに魅力を感じる。なぜなら、研究活動や大学運営といったものも、個人プレーの寄せ集めのようにでいて、実は団体戦そのものだからだ。

図書館運営も同じである。利用者間の連携プレーがなければ成り立たない。駅伝の主役はもちろん選手である。監督やコーチではない。図書館の主役も館長でもなければ、まして分館長でもない。利用者であり、その多くは学生諸君である。利用者の皆さんには、まずは、「お客様だ」という意識は捨ててもらいたい。そして、もうひとつお願いだ。新たなルール作りだ。2014年10月に浜松キャンパスに図書館分館が新装オープンする。これまでに比べると面積も広くなり、ディスカッション可能なスペースなども設けられる。ここでは、「人と本の出会い」に加えて「人と人との face-to-face の出会い」の場を想定している。当然、新しい図書館には新しいルールが必要になる。もちろん、「他の利用者の迷惑となる行為は慎む」という基本ルールは譲れない。となると、どうやって「声を出してもいい場所といけない場所を分離するか」ということになるだろう。他にも、いろいろなルール作りが必要になってくるかもしれない。そこで、ぜひ利用者間で現場に即したルールを提案して欲しい。

図書館には「図書館モニター」という制度がある。これは、昨年の「図書館通信」で館長が紹介していることでもあるが、これに参加していただけると話は早い。モニターになると年に1~2回の会議があり、そこで館長や分館長、あるいは図書館員に対して直接意見を述べるができる。もちろん、このような会議の場でなくても、また、モニターにならなくても、実名でのメールでならいつでも受け付ける（匿名や仮名でのメールはご遠慮ください）。浜松分館に関する意見は [thumemo\(at\)ipc.shizuoka.ac.jp](mailto:thumemo(at)ipc.shizuoka.ac.jp) までお願いする（(at)は@に変更してください）。ぜひ、図書館をより良いものにしていくための力となって欲しい。

浜松分館の設備充実のため、寄附を集めています
静岡大学未来創成基金 附属図書館
浜松分館整備特定基金
<http://www.lib.shizuoka.ac.jp/top/?s-port4>

【図書館ギャラリー企画展報告】

平成 25 年度の 1 年間に、静岡本館ギャラリーにおいて、さまざまな企画展を開催していただきました。ご出展いただいた方々、そしてご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

	開催期間	企画展名 (gallery talk or workshop)	主催
第 1 回	2013 年 4/8～4/26	昆虫展示会 ～むしのみどころ～ (4/25)	昆虫同好会「虫処」
第 2 回	5/7～5/24	三人展 (5/9,5/16,5/23)	教育学部書文化専攻 学生
第 3 回	6/10～6/26	平治物語三条殿夜討巻(複製)展示	教育学部大宮研究室
第 4 回	7/1～7/19	空想展「夢の中」	教育学部美術 学生
第 5 回	10/7～10/28	FANTASIC NEWSPAPER	教育学部美術 学生
第 6 回	11/6～11/8	木版画《ラブレール頌》新収蔵展示 (11/6 贈呈式)	附属図書館
第 7 回	11/19～11/26	あれから 2 年半～東北の今～	ボランティアサークル響
第 8 回	11/29～12/20	美男展 (12/6,12/12)	教育学部美術 学生
第 9 回	2014 年 1/14～1/28	「静岡の教育」(1/21)	教育学部教育実践学教室

〈木版画《ラブレール頌》の新規収蔵について〉

静岡大学附属図書館では、版画家・高橋房雄氏と理学研究科・加藤憲二教授（前附属図書館長）のご厚意により、高橋房雄氏の木版画作品《ラブレール頌》を新たに収蔵いたしました。

平成 25 年 11 月 6 日には高松良幸附属図書館長より、高橋氏に感謝状と記念品の贈呈が行われました。高橋氏からは、弾劾を受けながらも著作を刊行したフランス・ルネサンスを代表する人文主義者・物語作家であるラブレールへの思い、そのラブレールを讃える作品が図書館に置かれる意義、そして同じ印刷物である版画と図書の親和性などのお話がありました。加藤教授からは芸術と出会う機会が図書館にできることへの期待が述べられました。

贈呈式後、11 月 8 日まで、静岡本館 4 階ギャラリーにて《ラブレール頌》の公開展示を行いました。

附属図書館では今後、保管環境にも留意しながら、図書館利用者の皆様に《ラブレール頌》をご鑑賞いただく機会を設けてまいります。



高松館長(右)からの感謝状贈呈



左より高橋氏、加藤教授

【図書館利用学生モニター活動報告】

利用サービス係

図書館利用学生モニター（以下「モニター」といいます。）による平成 25 年度における活動状況について、ご紹介いたします。

モニター選書

(静岡)平成 25 年 7 月 4 日、10 月 3 日

(浜松)平成 25 年 9 月 30 日、12 月 19 日～20 日

学生用図書を学生からの視点で選んでもらうため、静岡では戸田書店本店、浜松では谷島屋浜松本店にモニターが出かけて選書しました。



企画展示

モニターが選んだ本は、受入後、推薦の言葉を添えて展示しました。



緑のカーテン

(静岡)平成 25 年 5 月 30 日～10 月 17 日

(浜松)平成 25 年 6 月 14 日～ 9 月 30 日

夏場におけるエコ対策として、静岡本館はハーベストルーム、浜松分館はウッドデッキに緑のカーテンを設置しました。



「笹飾り」七夕イベント

(浜松)平成 25 年 7 月 1 日～7 日

浜松分館では、電子工学研究所横の竹林から竹を切り出して、七夕祭りの飾り付けを行いました。七夕飾りは入館ゲート横に立てて、短冊とペンを用意、一般の学生に参加してもらったところ、すぐに短冊でいっぱいになりました。



図書館フェスタ 2013

(静岡)平成 25 年 11 月 16 日～17 日

大学祭およびキャンパスフェスタ in 静岡にあわせて、しおり作りのワークショップを開きました。簡単パウチからマグネットクリップタイプ、千代紙人形しおりまで。たくさんの市民の方にご参加いただきました。



モニター会議

(静岡)平成 25 年 12 月 18 日

(浜松)平成 26 年 2 月 18 日

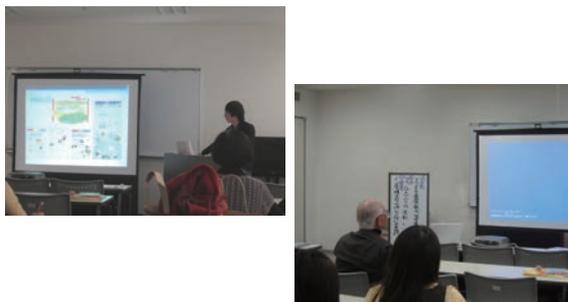
モニター会議とは、館長、分館長が主催する会議です。図書館のサービス等についてモニターから意見、要望をいただきました。モニターのあり方や浜松の Students' Port 構想が話題に上がりました。



市民との交流

(静岡)平成 25 年 6 月 13 日、11 月 30 日

静岡図書館友の会と懇談の場を持ちました。同会が開催したセミナー「人と本をむすぶ」で活動の報告とビブリオバトルの模擬戦を行ってくれました。



ビブリオバトル

(静岡)平成 25 年 6 月 1 日ほか

おすすめの本を紹介し合い、読みたくなかった本（チャンプ本）を投票して決定するビブリオバトル。その全国大会の予選にモニターも参加しました。本の紹介を通し、プレゼン能力の向上やモニター同士の交流を深めるきっかけとなりました。



平成 26 年度に活動していただく学生モニター募集が平成 26 年 4 月下旬から始まります。図書館に興味がある方、モニターとして活動してみたい方は、気軽に各館のカウンターにお申し出ください。皆様のご来館をお待ちしております。

～教員等著作寄贈図書一覧～

このリストは、本学教職員等により著作(等)され、図書館にご恵贈していただいた図書を一覧にしたものです。(各館五十音順) (平成26年2月28日現在)

●本館受入

◇井柳美紀 (人文社会科学部)

- ・ディドロ多様性の政治学/井柳美紀著 [創文社]
〈著者〉 静・開架 【135.3/I97】

◇岩見良憲 (教育学部)

- ・特別支援学校教員という仕事・生き方:20人のライフ
ヒストリーから学ぶ/藤原文雄, 岩見良憲著
[学事出版] 〈編著〉 静・開架 【378/F68】

◇丑丸敬史 (理学研究科)

- ・酵母:生命研究のスーパースター/
丑丸敬史, 泰中啓一著 [ITSC 静岡学術出版事業部]
〈著者〉 静・開架 【465.8/U93】

◇大野旭 (人文社会科学部)

- ・被害者報告書(1) (内モンゴル自治区の文化大革命 5.
モンゴル人ジェノサイドに関する基礎資料(5)) /
楊海英編 (静岡大学人文社会科学部叢書 32)
[風響社] 〈編者〉 静・開架 【312.227/Y72/5】
- ・被害者報告書 2/楊海英編 [風響社] 〈編者〉
静・開架 【312.227/Y72/6】
- ・植民地としてのモンゴル:中国の官制ナショナリズム
と革命思想/楊海英著 [勉誠出版] 〈著作〉
静・開架 【316.822/Y72】

◇大矢恭久 (理学研究科)

- ・ラジオアイソトープの取扱いと放射線計測/奥野健二,
大矢恭久編 [ITSC 静岡学術出版事業部] 〈編者〉
静・開架 【539.6/056】
- ・静岡県における防災・減災と原子力/奥野健二, 大矢
恭久編 [ITSC 静岡学術出版事業部] 〈編者〉
静・開架 【519.9/056】

◇久木田直江 (人文社会科学部)

- ・神話・象徴・画像/篠田知和基編 [楽瑯書院]
〈論文掲載あり〉 静・開架 【164.04/SH66/1】

◇熊倉啓之 (教育学部)

- ・フィンランドの算数・数学教育:「個の自立」と「活
用力の育成」を重視した学び / 熊倉啓之編著
[明石書店] 〈編著〉 静・開架 【372.389/KU33】

◇今野喜和人 (人文社会科学部)

- ・クロコディル:一八世紀パリを襲った鱷の怪物/ルイ=
クロード・ド・サン=マルタン著; 今野喜和人訳
[国書刊行会] 〈訳者〉 静・開架 【953/SA22】

◇静岡大学人文社会科学部、静岡大学文理・人文 学部同窓会

- ・現代社会の変容とキャリア形成 (静岡大学文理・人

文学部同窓会 寄付講座講演集 平成24年度 [静岡大
学人文社会科学部:静岡大学文理・人文学部同窓会]

〈発行〉 静・開架 【366.29/SH94/2012】

◇張盛開 (人文社会科学部)

- ・一人称複数代名詞における除外と包括の対立:漢語諸
方言を中心に=第一人称代詞複数排除式と包括式的対
立:以汉语方言为中心/張盛開著 [好文出版] 〈著者〉
静・開架 【825.3/C52】

◇杉山融 (情報学研究科)

- ・刀耕清話:現代に生きる糧:小川忠太郎の遺した魂(こ
ころ)/杉山融著 [体育とスポーツ出版社] 〈著者〉
静・開架、閉架 【789.3/SU49】

◇富田涼都 (農学研究科)

- ・なぜ環境保全はうまくいかないのか:現場から考える
「順応的ガバナンス」の可能性/宮内泰介編 [新泉社]
〈執筆(第1章担当)〉 静・開架 【361.7/MI86】

◇長崎栄三 (教職大学院(教育学研究科))

- ・高等学校学習指導要領数学科編昭和31年度改訂版の
作成過程とその後:戦後の高等学校数学科の教育課
程の確立 [長崎栄三] 〈著者〉 静・開架 【375.1/N21】

◇三富紀敬 (静岡大学名誉教授)

- ・介護者の健康と医療機関:健康格差論の射程/三富紀敬
著 [ミネルヴァ書房] 〈著者〉 静・開架 【369/MI62】

◇宮崎佳典, 新谷誠, 中谷広正 (情報学研究科)

- ・理工系のための離散数学/宮崎佳典, 新谷誠, 中谷広正
著 [東京図書] 〈共著〉 静・開架 【410/MI88】

◇森野聡子 (情報学研究科)

- ・歌は地域を救えるか:伝統歌謡の継承と地域の創造/
梁川英俊編 [鹿児島大学法文学部人文学科] 〈執筆〉
静・開架 【388.9/Y51】

◇森誠 (農学研究科)

- ・生化学ノート:書く!塗る!わかる!:カラー図解/森誠著
[講談社] 〈著者〉 静・開架 【491.4/M045】

◇矢野敬一 (教育学部)

- ・先輩が語る就職活動体験談教員採用面接試験の内容
2013, 2014/矢野敬一責任編集 [静岡大学教育学部学
生・キャリアサポート委員会] 〈編集〉
静・開架 【377.9/Y58/2013, 2014】

●分館受入

◇大野旭 (人文社会科学部)

- ・被害者報告書(1) (内モンゴル自治区の文化大革命 5.
モンゴル人ジェノサイドに関する基礎資料(5)) /
楊海英編 (静岡大学人文社会科学部叢書 32)

[風響社] <編者> 浜・開架 【312.227/Y72/5】

◇岡本正芳 (工学研究科)

- ・工学系のための確率・統計: 確率論の基礎から確率シミュレーションへ/岡本正芳著 [コロナ社] <著者>
浜・開架 【417/042】

◇今野喜和人 (人文社会科学部)

- ・クロコディル: 一八世紀パリを襲った鱐の怪物/ルイ=クロード・ド・サン=マルタン著; 今野喜和人訳
[国書刊行会] <訳者> 浜・開架 【953/SA22】

◇静岡大学社会連携推進機構

- ・食と健康を科学する/静岡大学社会連携推進機構編(静岡大学公開講座ブックレット7) [静岡大学社会連携推進機構] <編者> 浜・開架 【081/SH94/7】

◇静岡大学人文社会科学部、静岡大学文理・人文学部同窓会

- ・現代社会の変容とキャリア形成 (静岡大学文理・人文学部同窓会 寄付講座講演集 平成24年度) [静岡大学人文社会科学部・静岡大学文理・人文学部同窓会] <発行> 浜・開架 【366.29/SH94/2012】

◇立元雄治 (工学研究科)

- ・実用乾燥技術集覧/立元雄治, 中村正秋著
[分離技術会] <編著> 浜・開架 【571.6/TA94】
- ・初歩から学ぶ乾燥技術: 基礎と実践 (第2版) / 中村正秋, 立元雄治著 [丸善出版] <著者>
浜・開架 【571.6/N37】

◇森野聡子 (情報学研究科)

- ・歌は地域を救えるか: 伝統歌謡の継承と地域の創造/ 梁川英俊編 [鹿児島大学法文学部人文学科] <執筆>
浜・開架 【388.9/Y51】

〽 図書館の動き 〽

・平成25年度第2回附属図書館委員会

<平成25年7月31日(水)>

○審議事項

1. 前回議事要録について
2. 平成24年度附属図書館経費決算について
3. 平成25年度附属図書館経費予算について
4. 平成25年度学生用図書購入費の配分について
5. 図書の不用決定について
6. 共通経費による電子ジャーナルデータベースについて

○報告事項

1. 附属図書館利用状況について
2. 平成25年度図書館利用セミナーの実施報告について
3. 外部評価について
4. 研究室貸出図書の点検について
5. 浜松分館の改築について

・平成25年度第3回附属図書館委員会

<平成25年10月10日(木)>

○審議事項

1. 共通経費による電子リソースについて
2. 外部評価に伴う改善計画内容について

・平成25年度第4回附属図書館委員会

<平成25年12月13日(金)>

○審議事項

1. 第2回議事要録について
2. 浜松分館改築後のプランについて
3. 学生用図書費の電子リソース経費への流用について
4. 不用候補図書の決定について

○報告事項

1. 浜松分館整備特定基金について
2. 拡大電子リソース検討WGの検討状況について
3. 平成25年度附属図書館利用セミナー等年間実施報告について

・平成25年度第5回附属図書館委員会

<平成26年2月12日(水)>

○審議事項

1. 静岡大学附属図書館委員会規則の一部改正について

◆人事異動

平成25年3月31日付

小濱 進 [分館サービス係長→定年退職]

平成25年4月1日付

高松良幸 [附属図書館長任命

(~平成27年3月31日)]

梅本宏信 [附属図書館浜松分館長任命

(~平成27年3月31日)]

鶴田泰明 [図書館情報課副課長→財務課副課長
(経理担当)]

渥美 武 [国際交流課副課長→図書館情報課副
課長]

名波一明 [分館資料係長→分館サービス係長]

杉山智章 [電子情報係主任→電子情報係長]

高橋里江 [利用サービス係員→分館資料係員]

溜渕文子 [分館資料係長兼務]

釜田香寿枝 [電子情報係長兼務免]

平成25年7月1日付

高橋里江 [分館資料係員→分館資料係主任]

村上真佐子 [利用サービス係員→分館資料係員]



図書館開館日程〔2014年4月～2014年9月〕

	9:00～22:00		10:00～17:00
	10:00～19:00		9:00～17:00
	9:00～21:00		休館日

静岡本館開館日程

※開館日・開館時間は変更することがあります。臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

2014年4月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

浜松分館開館日程

※開館日・開館時間は変更することがあります。臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

2014年4月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

静岡大学附属図書館報「図書館通信」第166号 (平成26年3月18日発行)

発行所 静岡大学附属図書館 URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp>

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL.054-238-4473 Fax.054-238-5408 (再生紙使用)

